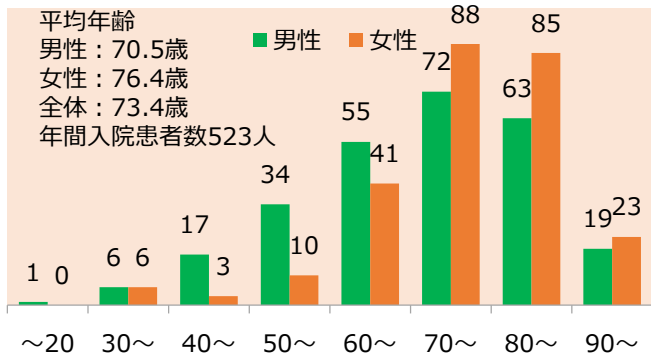


回復期リハビリテーション病棟

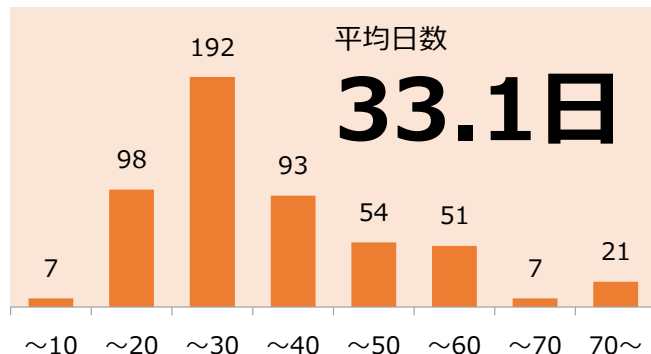
2019年度 クリニカル・インディケータ

発行：医療サービス向上委員会 2020年10月

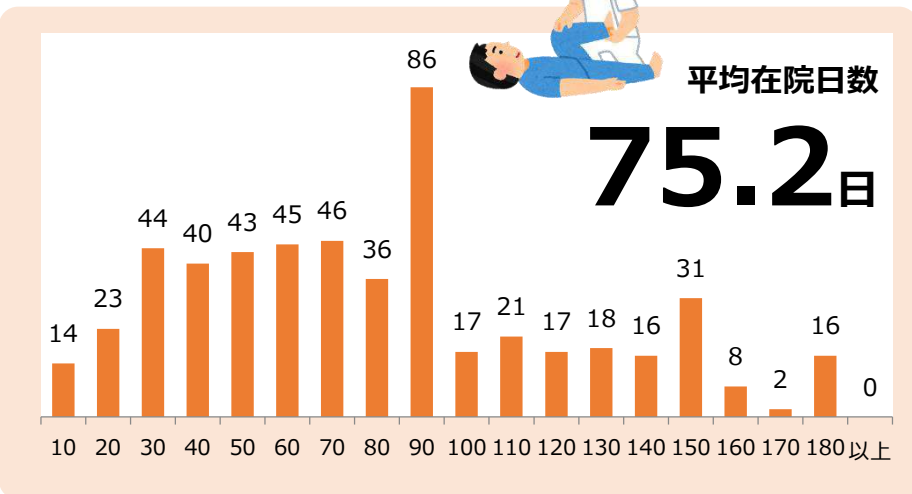
性別・年齢



発症～入院までの期間

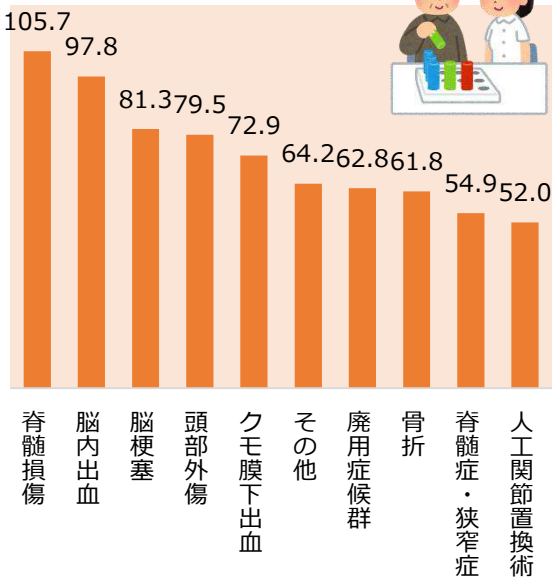


入院期間(日)

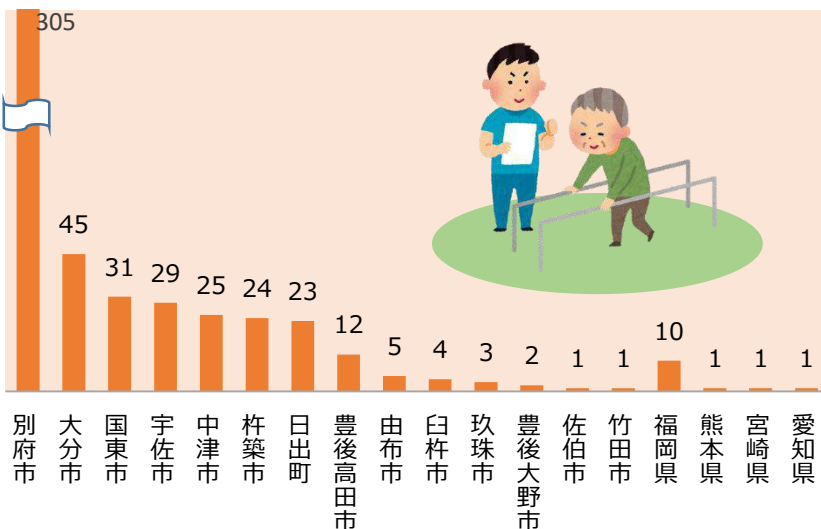


リハビリテーション訓練室屋外歩行テラス

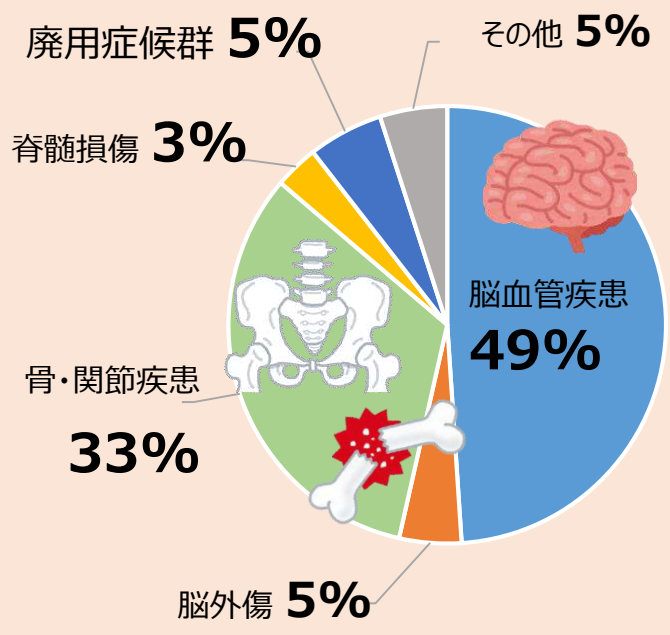
疾患別平均在院日数



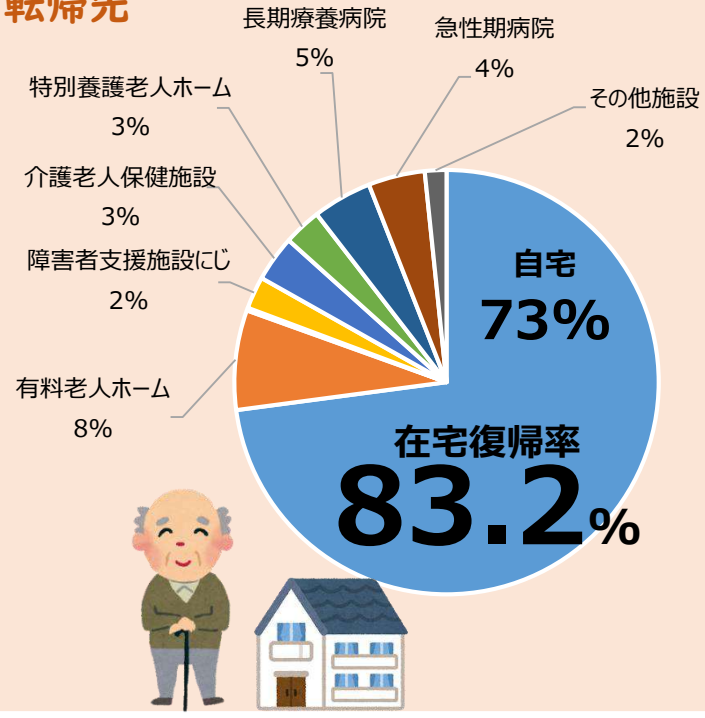
患者住所(人)



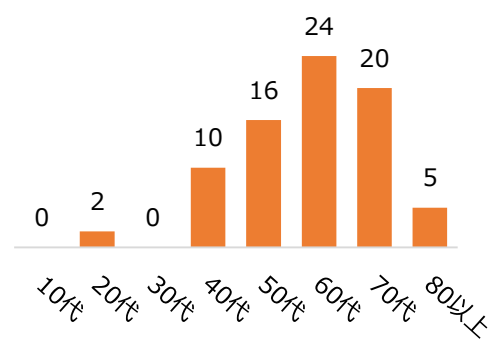
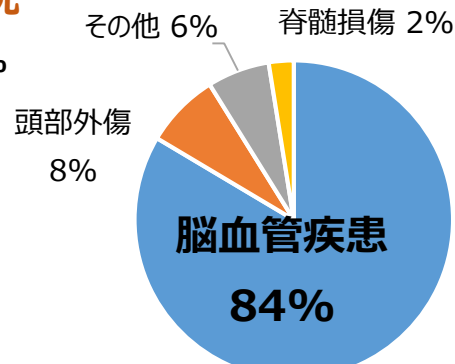
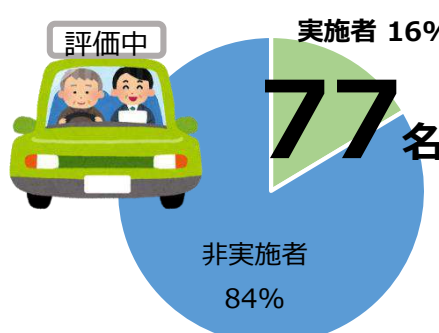
疾患分類割合



転帰先



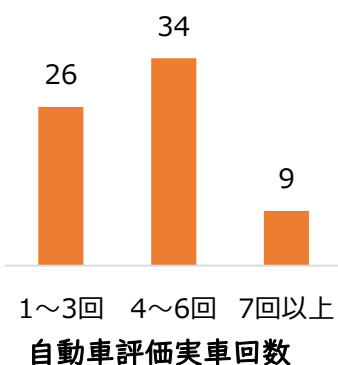
自動車運転評価実施状況



全入院患者中運転評価実施者割合

運転評価者疾患割合

運転評価者年齢分布



公安委員会提出用診断書作成者数



自動車評価実車回数

最新リハビリテーション機器



軌道の異なる17種類のアームの動き・負荷・速度の組み合わせが可能。アームの動きを3次元で設定でき、患者さんの麻痺状態に合わせた適切なりハビリを提供できます。

上肢機能訓練ロボット「ReoGo-J」



ロボット技術を応用したリハビリ支援ロボット。身体バランスや歩行困難な方に早期から歩行練習を提供できる。3台のカメラで歩行の様子を映し出し、患者さんも療法士もリアルタイムに確認できます。

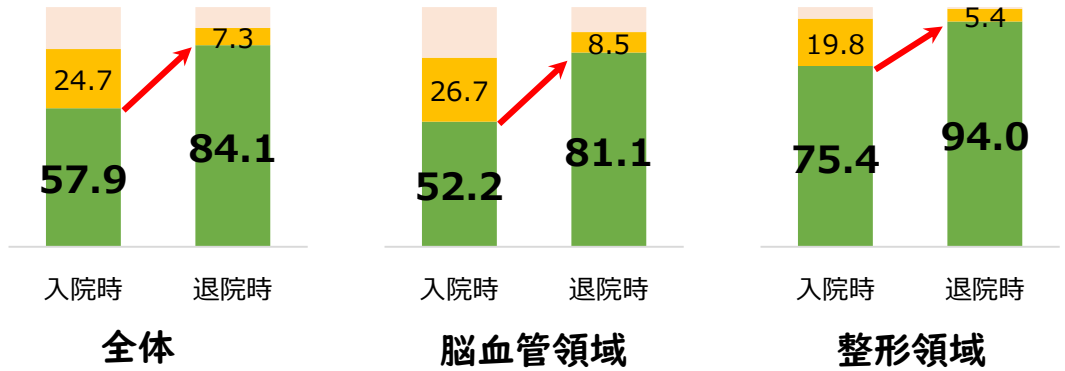
歩行支援ロボット「ウェルウォーク」

リハビリテーション効果<入院時→退院時 機能的自立度評価>

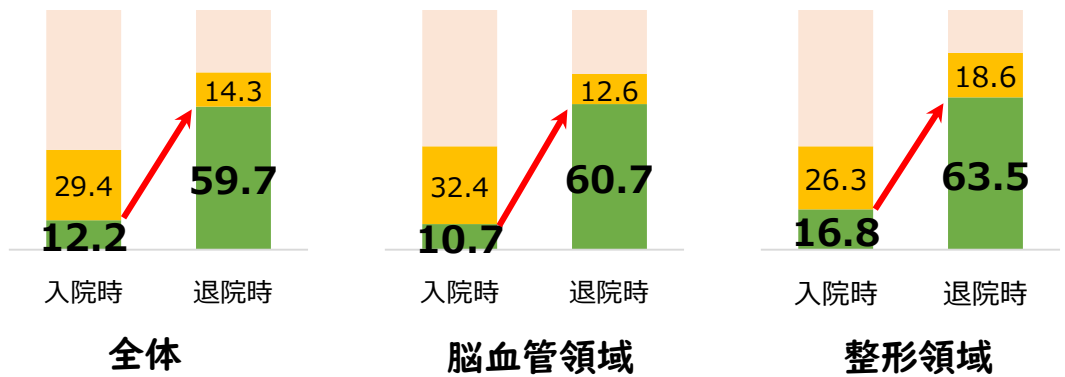
Functional Independence Measure (FIM) によるADL評価

単位：%

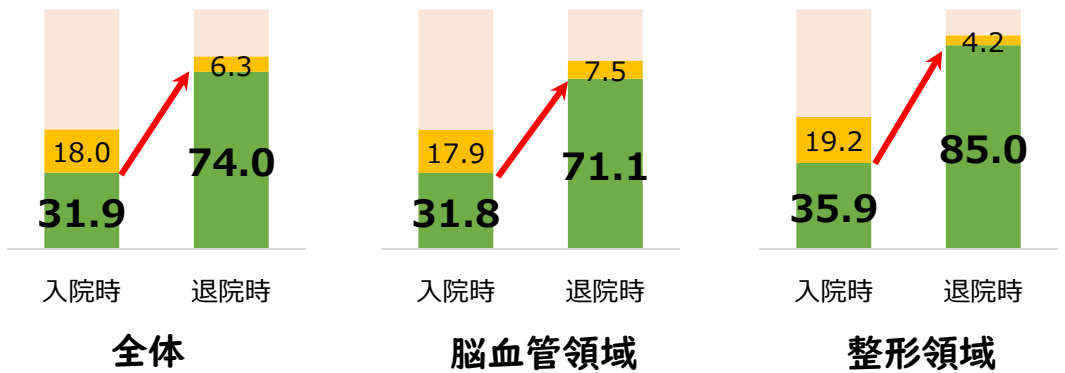
食事



入浴



トイレ



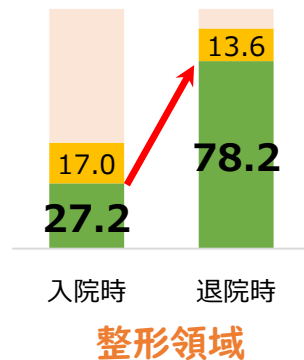
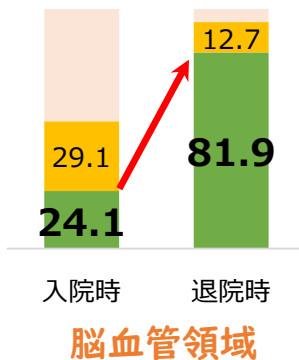
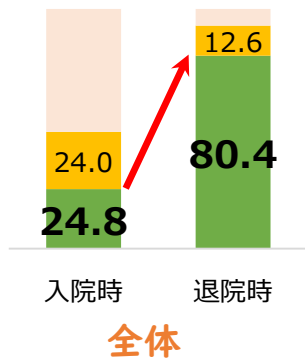
移動(歩行)

■ 自立

■ 見守り

■ 介助

入院患者523名中で、404名の方が歩行状態で退院され、その内93%の方は自立歩行（見守り含む）可能でした。



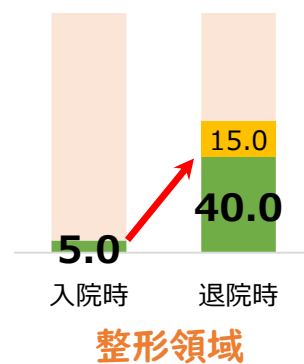
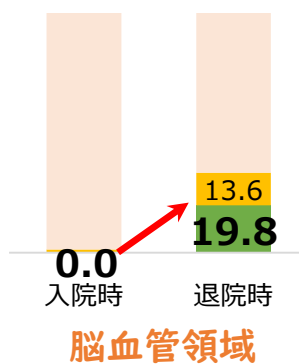
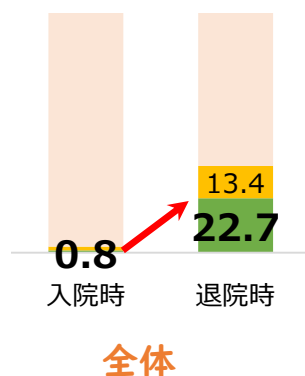
移動(車椅子)

■ 自立

■ 見守り

■ 介助

119名の方は車椅子にて退院されました。その内36.1%の方は車椅子自走（見守り含む）可能でした。

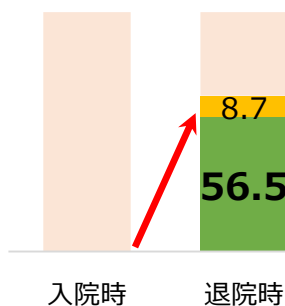
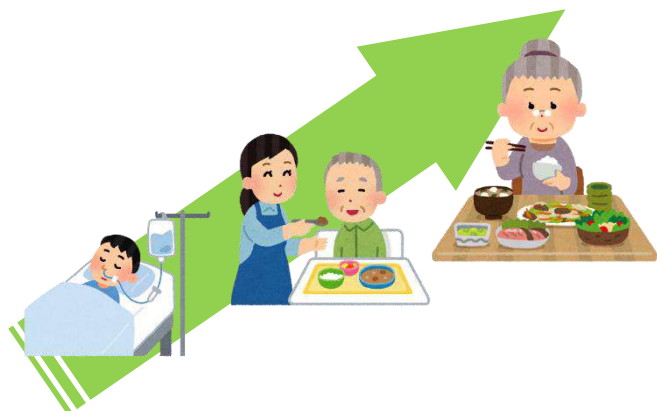


経管栄養改善

■ 3食経口摂取

■ 経口+経管併用

■ 経管のみ



入院時に経鼻栄養チューブ等にて経管栄養をされていた方の56.5%は退院時には3食お口から食事を摂取できるように回復されています。また、8.7%の方は経口・経管の併用まで回復されています。

